

搭乗者の症状に適合する オーダーメイド福祉車両の施工・提供

本事業における成果

- 高性能の測定機器を導入できた
- 施工試験により、技術力の評価・向上ができた
- 報道されたことでPRとなった

会社データ

- 創業 1969年
- 代表 西元 勇司
- 所在地 射水市小島350
- TEL/FAX TEL:0766-52-3939
FAX:0766-52-1967
- E-mail info@nishimoto-auto.com
- U R L http://nishimoto-auto.com/
- 資本金 300万円
- 従業員数 3人
- 取扱製品 外国車・日本車・新車・中古車・各種アフターパーツ・車検・修理・钣金・塗装など。

自動車の販売台数が減少する中、高品質で嗜好性の高い英国モーガン社、伊ピアジオ社など海外メーカー車の販売に特化し、差別化を図っている。



1 会社の概要

射水市・名古屋市・金沢市の3カ所に販売拠点を有し、自動車・オートバイなどの販売や車検、修理などの事業を行っている。

以前には国産車を中心とした販売修理業を行っていた。現在は自動車販売修理業が飽和状態にある中で、専門的な分野に特化しない限り将来的な生き残りは難しいと判断し、「長く乗れること」を条件に選定した海外メーカー車・オートバイに特化して販売を行っている。

現在は扱う車種の多くが北陸初上陸のものとなっており、富山県内のほか近隣県からも多くの人が来店している。

2 補助金事業の内容

平成25年ごろからオートバイを扱うようになり、顧客などから事故によるけがの影響で後遺症が残ってしまったケースについて耳にすることが多くなった。自社の扱う製品による事故ではないとはいえ、販売者として何らかの責任を果たすべきではないかという考えのもと、こうした問題のポジティブな解決策として、福祉車両の提供に着手することとなった。

各自動車メーカーにより福祉車両が製造されているが、これらの搭載機器は搭乗者固有の症状に適

合しない場合も少なくない。また、筋力の低下など進行性の症状への対応ができないという問題点もあった。

搭乗者一人ひとりの症状に適合し、症状の進行に合わせた改良・調整が可能な福祉車両を実現するためには、後付けの福祉機器を一般車両に取り付け、オーダーメイドで調整を行う方式が最適との結論に達した。この方式には自動車乗り換えの際に付け替えができ、搭乗者の経済的負担が軽減されるというメリットもあった。

提携する福祉機器メーカーは、スウェーデンのオートアダプト社とした。日本には車検をはじめ、自動車に関する多くの規制があり、それらに適合する形での搭載が必須となる。同社の福祉機器は世界各国で共通する認証を得ており、規制に適合させるための改造が不要である点が決め手となった。

顧客の症状に合わせた調整・改良を行う場合、従来は施工者の経験に基づく「勘」に頼ることが多



多機能トイレの設置など、店舗のバリアフリー化も推進

かった。当社ではより確実に搭乗者の症状に適合する施工を行うため、今回の補助金事業に参加し、最先端の運転操作力測定機器を購入した。また車両2台の試験的な施工に関しても、補助金を利用して実施した。

3 補助金事業の成果

平成27年初頭、運転操作力測定機器が導入された。これにより、車いすから問題なく移乗できるシートの高さ、反応速度、けいれんなどの症状、ハンドルを操作するための筋力など、多数の項目において計測することが可能となった。結果を数値として示すことができるため、最適な施工を行うにあたっての有力な判断材料になるとともに、顧客が自身の症状に対して理解を深める助けとなることが分かった。また進行性の症状がある人に関しても、リハビリ・トレーニング後に再度測定したうえで施工に入るなど、よりきめ細やかで状況に即した対応が可能となった。

施工試験車両第1号には、福祉機器の取り付けが最も難しいと思われる車種を選択した。この車両への施工を問題なく完了できたことで、当社の技術力について客観的な評価を行うことができ、また



運転操作力測定機器

施工の過程で技術力が向上した。

測定機器の導入後、新聞などで報道がなされたこともあってか、県内一円から多数の問い合わせを受けた。施工前には時間をかけ、運転操作力測定や各種申請、搭乗者の親族との話し合いなどを行うことになる。現在複数の案件について、顧客との打ち合わせを重ねている。

4 今後の展望

日本が超高齢社会を迎えるにあたり、本事業の重要性は今後より

高まっていくと考えている。今後は県内から石川・福井県へと、オートアダプト社製品ならびに当社サービスの普及を進めていきたい。

オーダーメイドの福祉車両施工は、仮に事業者が撤退すると顧客が継続したサービスを受けられなくなる。その意味で、顧客の生活への影響が非常に大きい事業である。当社としても責任の大きさを自覚し、財務の健全化などに恒常的に取り組むことで安定したサービスを提供していきたい。



施工例1



施工例2